

美術の学校

対話型鑑賞とは？

アート作品を見て、感じたり、考えたりしたことを鑑賞者同士で共有しながら鑑賞する方法です。

「対話型鑑賞講座」の



三岸節子《室内》1939年 ©MIGISHI

アートをより楽しむための
対話型鑑賞のすすめ

開催日程

7/27(土)・8/3(土)・8/10(土)

募集期間

5/24(金) → 7/16(火)

ご案内



一宮市三岸節子記念美術館

〒494-0007 愛知県一宮市小信中島字郷南3147-1

Tel:0586-63-2892 Fax:0586-63-2893 <https://s-migishi.com>





三岸節子《自画像》
1925年 ©MIGISHI

一宮市三岸節子記念美術館 「対話型鑑賞講座」受講者募集!

対話型鑑賞講座(全3回)

日時：① 7月27日(土) 13:00~16:00

「対話型鑑賞の由来、基本について」

② 8月3日(土) 13:00~16:00

「対話型鑑賞に必要な知識と鑑賞スキル」

③ 8月10日(土) 13:00~16:00

「対話をしながら三岸節子の作品鑑賞」

内容：美術作品をより楽しく、より深く鑑賞するために有効な対話型鑑賞についての座学・実践講座です。対話型鑑賞の基本となる「見る・考える・話す・聞く」を学んだ後、三岸節子の作品を対話しながら、楽しく鑑賞します。

講師：濱野かほる氏(岐阜県美術館、普及業務専門職)

会場：一宮市三岸節子記念美術館 1階講義室ほか

対象：18歳以上(高校生を除く)で3回すべて出席できる方

定員：60名(抽選)

参加費：640円(コレクション展年間パスポート付き)

申込方法：① 5月24日(金)午前9時から7月16日(火)午後5時までに
右記QRコードからオンライン申込。

② はがきに郵便番号・住所・参加者名(ふりがな)・年齢・電話番号を
記入し「対話型鑑賞講座」と明記の上、郵送(7月16日必着)。



展覧会情報

4月16日(火)~7月7日(日)

◆ コレクション展「色彩の詩」

学芸員によるガイドツアー

日時：6月13日(木)午後2時~

参加費：無料(要観覧券)

申込：不要(当日直接会場)



三岸節子《ブルゴーニュにて》
1989年 ©MIGISHI

7月13日(土)~9月1日(日)

◆ 企画展

「奥田元宋・小由女 ふたりの美術館」

◆ コレクション展

「せつこさんのフランスだより」

ご利用案内

開館時間：9:00~17:00(入館は16:30まで)

休館日：毎週月曜日(祝日、振替休日の場合は開館)、
祝日の翌平日、7月8日(月)~7月12日(金)

観覧料：4/16(火)~7/7(日)

コレクション展

(一般320円、高大生210円、中学生以下無料)

7/13(土)~9/1(日)

企画展(コレクション展観覧料を含む)

(一般500円、高大生250円、中学生以下無料)

※一宮市内在住の満65歳以上で住所・年齢の確認できる

公的機関発行の証明書等を提示された方、および

身体障害者手帳・戦傷病者手帳・精神障害者保健福祉手帳・

療育手帳を持参の方(ミライID可、付添人一人を含む)は無料

※20名以上の団体は2割引



一宮市三岸節子記念美術館

〒494-0007 愛知県一宮市小信中島字郷南3147-1
<https://s-migishi.com>

Facebook: @s.migishi.museum Instagram: @s.migishi.museum X: @s_migishi_muse

[交通案内/公共交通機関をご利用の場合] 名古屋駅から電車とバスで約40分

●JR東海道本線(名古屋駅⑤⑥番)にて「尾張一宮駅」下車、または名鉄名古屋本線にて「名鉄一宮駅」下車(JR新快速・名鉄特急で10~15分)、一宮駅西口の名鉄バスターミナル②番のりばから「起(おこし)」行きで約15分、「起工高・三岸美術館前」バス停下車、徒歩1分。[バスは1時間に約3本運行] ●岐阜羽島駅(東海道新幹線)からタクシーで約20分

